

Bridges

【本校生が留学先のデンマークから帰国】

本校では積極的に短期留学生を受け入れている一方、将来のために留学を選択する生徒が毎年います。過去にいくつかの体験記を紹介させて頂きましたが、留学した生徒達からは良い体験になったと聞いています。

さて、今月にも1名が留学を終えて帰国しました。体験記を紹介させて頂きます。

◎菅野 君 (高校2年)

デンマークという選択は私の周りの人にとって意外な選択であり、「なぜ、デンマークなの?」と必ずと言って良いほどよく聞かれます。確かに、皆さんが思い浮かべるヨーロッパ、イギリスやドイツ、フランスなどと言った国のようにこれといった特色もなく母国語も極めてマイナーな言語で疑問に思われても仕方がないと思います。首都が仙台の半分と知ったときは私も衝撃を受けました(笑) そんなヨーロッパの小国デンマークの第3の都市オーデンセで私はこの1年本当に他では代えがたい経験をしてきました。留学前は英語にも本当に自信がなく、もちろんデンマークの母国語であるデンマーク語はもっての外で、なぜ留学を思い立ったのかは自分でも不思議です。このような状態だったので始めのうちは言葉の壁はとて高く始めの1,2ヶ月は本当に大変なものでした。それに加え「現地での生活に慣れる」、留学体験記な

どに良く載っている文ですが、デンマークに渡るまでは言葉の壁のことだけを指しているとはばかり思っていました。しかし実際は日本とは全く違うものの考え方や文化にとっても戸惑い、現地の生活に慣れるということは想像以上に大変であり、刺激的でした。私の滞在したホストファミリーは父が動物病院を営み、母が助産師で兄弟が2人いる家庭でした。とても活動的な家庭で国外に出かける機会も多く、私もドイツやイタリアなどたくさんの国に連れて行っていただきました。留学先以外の国を垣間見ることはとても刺激的で、有意義な時間をホストファミリーと共に過ごすことが出来ました。デンマークにはたくさんの留学生がいて、世界各国に友達ができ、素晴らしい自分の財産になったと思っています。留学後の今でもFacebookなどで連絡を取ることが多く、特に仲の良かったタイ、ポルトガル、ドイツ、コスタリカの友達とはSkypeなどで頻繁に話します。言葉だけが自分の財産になるとばかり思っていた私にとって、意外ではありましたがとても良い経験をしました。もちろん言葉の方も始めの1,2ヶ月は自分の気持ちや考えがうまく表現できず困惑することが多くありましたが、生活に慣れるに従い精神的な余裕も徐々に増え、自ずと勉強するようになり自然に身についた気がします。最終的に3カ国を話せるようになり、結果にも満足しています。デンマークは先程少し触れましたが非常に小さい国で

位置はドイツの北側に位置しイギリスから飛行機で1時間ほどです。税金25%で高齢化社会であり、福祉などが非常に充実している国でした。そのためEUなどとも独特な関係性があり加盟はしているものの金銭は独自の「クローネ」を使用しています。私はそういった事に興味を持ったので結果的にこの留学を通して自分のしたい事、進路などが明確になったと感じています。デンマークなどのほとんどのヨーロッパは英語圏でない分、言葉の壁がとて高いと思います。デンマークはイギリスから近いことが関係しているのか、国民のほとんどが問題なく英語でコミュニケーションを取っていました。私は英語も満足に習得していないまま飛び出してしまい、コミュニケーションに困る場面もありましたが、自然と苦痛を感じませんでした。これから留学する方は、少しの動機でも大切にして行ってください。言葉は後から必ず付いてくると思います。この体験記で少しでも留学に興味をもってもらえるキッカケになれば嬉しいです。

【英会話教室】

- ・基本的に毎週月曜日に行っています。英会話講師のケヴィン先生と国際交流委員の先生が指導にあたります。
- ・事前申し込み不要なので是非参加してください。

【第3 2回海外研修について】

第3 2回海外研修へ16名の本校生がまもなく、夏季休業中に出発します。これまで参加してくれた生徒諸君に負けないくらいの充実した研修、体験をしてくれることを期待しています。また元気に帰国した後は、この夏の体験が良い影響を与え、いっそう活躍して欲しいと願っております。

次回参加者については10月の奨学会の頃に募集を開始致します。詳細については、学校HP等をご覧ください。

【アンケートご協力ありがとうございました】

留学生受け入れに関するアンケートご協力ありがとうございました。本校を訪問してくれる留学生が増えれば、皆さんの学校生活をより豊かなものにすの一助となると思います。皆さんは本校の「ホストファミリー登録」をご存知でしょうか。これは、ホストファミリーをして给你们ご家庭を事前に登録しておくもので、より希望に合った留学生を招待できるというメリットがあります。

「ホストファミリーには興味があるけど、時期が合わなくてできなかった。」とか、「検討期間が短くて申し込めなかった。」ということがなく、よりスムーズに受け入れをしていけるよう考えていきますので是非、ご検討下さい。宜しくお願い致します。詳しくは国際交流委員の先生まで問い合わせして下さい。

【ホストファミリー登録について】

- ・ホストファミリー受け入れ可能として、学校に登録します。
- ・留学生の候補が見つかり次第、受け入れ可能か連絡します。

- ・今回は2015年中の実施を目指して活動しています。
- ・その後も継続して実施していきたいと思います。
- ・謝礼金（1万円/月）が学校から支給されます。幹旋団体（JFIE）からも同額が支給されます。

【NCTA学校訪問について】

6月17日(水)、7月8日(水)に米国ノースカロライナ州の教員団体であるNCTA(North Carolina Teaching Asia Network)の視察団が本校を訪れ、1日を過ごしました。NCTAの先生たちは本校で行われる授業を見学し、その後希望生徒と交流しました。生徒たちは昼食を共にしたり、学校の施設見学において説明を行ったりと英語を使って頑張りました。

参加生徒の感想

今回の国際交流はとても興味深かったです。向かいの席に座っていた男性の先生は、自転車に乗るのが好きで、現在開催中の大会の話も共有できました。一方で分からない英単語や自分が説明できない事柄がたくさんあり悔いも残っています。英語でコミュニケーションをとるのは難しいけれど次は英語でしっかりと会話ができるように頑張ります。

高校2年 庄子

いつも聞きなれない言語を聞くことは疲れる。隣に座った女性の先生は、伝わらない言葉があると紙に書いてくれたり、ゆっくりと話してくれたりした。スポーツについて共通した話題もあり、それについて会話してとても良い

経験になった。

高校2年 横堀

私は将来、英語を話したいと思っはいるものの、英語が聞き取れるか、また自分が英語をしっかりとした発音でしゃべれるかなど不安でした。意を決して今回参加してみたのですが、案外英語が通じ、また一緒に笑いあったりもしてとても楽しかったです。私が会話したブライアンさんは、私と同じく釣りが趣味で、場所はアメリカと日本で違うけれど共通の趣味の話題で盛り上がるのが今までになかったのでとてもよい経験になりました。

中学3年 佐々木

It was really fun talking to people from foreign countries. I learned a lot about their traditions from them. I lived in America a long time ago, but since I was really young, I didn't remember much about the US. I also haven't spoken much English since I came back from the US, so it really helped me remember it. It was fun talking about their families, and the culture near where they live. It made me want to go back to America. I want to say thank you to the people who came to our school, and I would like to meet with them someday. And if they come to Japan again, I would be very happy if they come to our school again.

中学3年 細川